

鹿児島県

1. 商品名等

商品名	じゃこらんたん	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
  ↑ 商品 ラベル ⇨ ⇐ パッケージ		<p>本校所在地の薩摩川内市の特産物を使った商品ができないかと検討するなかで作成した商品の1つがじゃこらんたんである。お菓子でちりめんじゃこを使ったものは少なく、洋菓子にはないと感じた。魚独特の臭みや味の残り具合など検討していく中で、地元でとれたちりめんじゃこの佃煮が利用できないかと検討した。</p>

2. 学校紹介

学校名	鹿児島県立川内商工高等学校	電 話	0 9 9 6 - 2 5 - 2 5 5 4
住 所	鹿児島県薩摩川内市平佐町 1835	F A X	0 9 9 6 - 2 5 - 1 0 1 8
担 当 者	西村 友美		
U R L	http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/sendai-c-t/		
E-mail			

本校は、商業科と工業科（機械科・電気科・インテリア科）を併置した専門高校で、各学科の特色を生かした教育内容で専門的な知識・技術を身につけ、更にいろいろな資格を取得することができます。平成30年度には創立90年を迎える歴史があり、専門的知識・技術を生かした企業への就職が可能です。全国で多くの卒業生が活躍しているお陰で、全国の大手企業から地元の地場産業まで幅広く、たくさんの求人をいただき就職しています。

また、四年制大学や短期大学・専門学校等へ進学する生徒も約1/3程おり、国立大学のAO入試での合格や県立短大の合格など、国公立から私立や職業訓練大学校まで更に深い専門的な知識を身につけるため、推薦入学等を利用し希望する学校へ進学しています。専門高校として就職・進学いずれも可能であり幅広い進路選択ができます。

3. 実施科目等

科 目 名	課題研究（商品企画）	単 位 数	4 単位
対 象 生 徒	10名	担当教員数	1名

4. 予算関係(費用)

協力企業の負担（一部課題研究費）

5. 開発経緯等

〈テーマ〉

1 薩摩川内市の特産物を利用した商品

〈年間計画〉

- | | | |
|--------|-------------------------|---------------|
| 4月～5月 | ①商品企画のための資料収集 | ②協力企業見学 |
| 5月～6月 | ①各自商品企画 | ②各自商品企画の発表と改善 |
| 7月 | ①協力企業へ商品企画の提案 | |
| 8月 | ①協力企業による商品企画案の検討と試作品作成 | |
| 9月～10月 | ①試作品試食と改良 | ②パッケージ等の検討 |
| 10月 | ①文化祭による販売 | ②今後の販売計画 |
| 11月～ | ①協力企業による店頭での継続販売 | |
| 12月 | ①協力企業『創業祭』での企画商品紹介と販売補助 | |

〈経緯〉

前年度からの協力企業とテーマを検討し、「薩摩川内市の特産物を利用した商品」で商品企画を行った。各自で商品の企画書をつくる中で、お菓子には余り使われない地元の魚を使って作成できないか検討を行った。梅ちりめん最中なども作成し試食したが、魚臭さが残った。魚臭さを上手く活かすことが逆にできないかとの意見から洋菓子のフロランタンにじゃこの佃煮を合わせることで魚のあまじょっぱさが後に残りつつ食べてしまう商品となった。パッケージのラベルデザインについては、見た目ですぐ魚を使った商品であることがわかるものに。しかし、魚が苦手な小さな子どもも手に取って欲しいとの思いからカラフルなデザインを心がけた。ネーミングはちりめんじゃこを使用した商品であり、洋菓子のフロランタンをもとにした商品であるため「じゃこらんたん」となった。

最初は昨年先輩が企画した商品の売れ行きなどを聞き、商品企画に消極的であったが、自分たちの企画書のもの形になるにつれ、様々な意見が出せるようになった。新たな商品を企画し、継続しておいていただくことに喜びを感じていた。



6. 販売形態・期間

①
・
無

有限会社「かしの樹」(協力業者)の店頭

7. 協力者等

①
・
無

有限会社「かしの樹」

8. 商標登録の有無

有
・
無

9. 今後の課題・展望等

継続して業者の協力がいただけたので早くから商品の検討に入ることができた。ちりめんじゃこを使うということで業者の方も最初は驚いていたが最終仕上がりでは生徒も業者も満足した商品ができた。購入者の意見から、もっと味のバリエーションを出しても良いのではという意見もあり、お酒に合うじゃこらんたんの開発も今後検討していきたい。